

顧問ニハ第一區域聯合都縣地方長官ヲ推ス

評議員ハ第一區域聯合都縣並其ノ他必要ト認ムル處ニ置キ會長之ヲ囑託ス

幹事ハ會長之ヲ指名ス

書記ハ常務幹事之ヲ任免ス

第八條 會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ其ノ事務ヲ代理ス

顧問ハ本會ノ經營ニ關シ意見アルトキハ會長ニ提出スルモノトス

評議員ハ會長ノ諮問ニ應ジ本會ノ重要事項ヲ議決ス

幹事ハ會長ノ命ヲ受ケ會務ヲ處理ス

會長ハ幹事中ヨリ常務幹事壹名ヲ指名シ幹事ヲ代表シテ會務ヲ處理セシム

書記ハ上司ノ命ヲ受ケ庶務會計ニ從事ス

第九條 本會ニ委員若干名ヲ置キ會長之ヲ囑託シ會務擴張ノ事ヲ掌ラシム

第十條 本會ハ毎年一回評議員會ヲ開ク但シ會長ニ於テ必要ナシト認ムルトキハ之ヲ省略スルコトヲ得

第十一條 本會ハ毎年一回幹事會ヲ開ク但シ必要アルトキハ臨時會ヲ開クコトヲ得

第十二條 評議員會及幹事會ハ會長之ヲ招集ス

第十三條 幹事會ニ於テハ左ノ事項ヲ議決ス

一 本會毎年ノ歲入出豫算

二 本會諸規則ノ改正

三 其ノ他必要ト認ムル件

第十四條 評議員會又ハ幹事會ノ議長ハ會長之ニ當リ議員三分ノ一以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス總テ決

議ハ出席者多數ノ意見ヲ以テ之ヲ決ス

第十五條 本會經費ハ寄附金及其ノ利殖金ヲ以テ之ニ充ツ

第十六條 本會ノ會計年度ハ四月ヨリ起リ翌年三月ニ終ルモノトス

常務幹事ハ毎年度會計收支決算書ヲ作り會長ノ決裁ヲ經テ評議員會ニ提出スヘシ

第十七條 會員ハ何時ニテモ會計帳簿ヲ閱覽シ且本會ノ事業其ノ他ニ付テ意見ヲ述フルコトヲ得

第十八條 會員並物品ノ寄附ヲ受ケタルトキハ謝狀ヲ送り氏名及目錄ヲ簿冊ニ登載シテ永久ニ保存ス

第十九條 物品現金並有價證券ハ常務幹事之ヲ保管ス但シ現金並有價證券ハ郵便局又ハ確實ナル銀行ニ預金スルコトヲ

得

第二十條 本會經費ニシテ殘餘ヲ生シタル場合ハ本會基本金ニ編入ス

第二十一條 本院ノ廢止又ハ都合ニ依リ本會ヲ解散スルトキハ評議員會ノ決議ニ依リ現在ノ金品ヲ他ノ慈善事業ニ寄附ス

◎財團法人全生互惠會

(昭和十六年二月十一日創立)

一、事業要項

第一項 相互扶助作業ノ獎勵及援助

本園ハ開園當初ヨリ一大家族主義ニ立脚シ相互扶助精神ノ涵養ニ努メシ結果現在千三百餘名ノ患者ハ恰モ一家族ノ如ク身ハ悲慘極リナキ病魔ト闘ヒツ、家族ノ一員トシテ重症者ノ看護ニ或ハ公益事業ニ或ハ精神修養ニ關スル種々ナル事業ニ從事セリ、然レトモ病重キニ至レハ多年功績顯著ナリシモノト雖モ之レヲ願ミル者ナク空シク病床ニ悶々トシテ生ヲ終ルヲ常トス、本會ハ斯クノ如キ功勞者ニ對シ社會ニアル恩給制度ニ準ス可キモノヲ設ケ聊カナカラ其ノ功績ヲ推賞シ以テ將來此ノ種ノ事業ニ從事スルモノヲ獎勵援助シ他面相互扶助精神ノ向上ニ努メ以テ 皇太后陛下ノ優渥ナル恩召ニ副ヒ奉リ兼テ本園ヲシテ理想的療養所トシメテ期ス。

第二項 重症者ノ慰安及救済

本園ニ現在收容セル患者千三百餘名中大部分ハ生家貧困ニシテ彼等ノ必要トスル金品ノ送付ヲ受クル能ハザルナリ。然レトモ未ク病輕症ナルモノハ園内諸作業ニ從事シ日々四錢乃至拾四錢ノ慰勞金ヲ受クルモ重症ニシテ收容當時ヨリ病室ニ呻吟シ作業ニ從事シ能ハサルモノ或ハ從來作業ニ從事セシモ一度重症トナリ長ク病床ニ臥シテ再ヒ立ツ能ハサルモノ或ハ失明ニシテ咫尺ヲ辨セサルモノ或ハ手足麻痺脱落シテ自己ノ起臥スラ自由ナラサルモノ、或ハ肺結核、心臟病、腎臟病等ノ如キ合併症ノ増悪シタモノ或ハ癩性熱衰弱ノ甚タシキモノ等カ長ク病床ニ看護ヲ受ケ籠中一錢ノ貯ヘナキニ至リタルニ於テハ其ノ心細サト周圍ノ稍々富メルモノヨリ受クル刺戟ニ依ル痛苦トハ到底想像スル能ハサルナリ。而シテ之等重症患者四百名中差當リ救済ヲ要スルモノ約二百五十名ニ達ス、之等要救患者ニ毎月若干ノ小遣ヲ支給シテ物質的慰安ヲ與ヘ引テハ之ヲ精神慰安ニ及ホシ將來全患者ノ大部分カ陥ル可キ失明重症ノ運命ニ對スル煩悶、焦躁、憂慮ノ念ヲ去リ安心立命ノ境地ニ達セシメントス。

第三項 農業其ノ他産業ノ經營及獎勵

耕作及牧畜ハ患者ニ對シ唯一ノ持久的慰安作業ニシテ此レニ依リテ新鮮ナル野菜及肉類、鶏卵、牛乳等ヲ園内全般ニ供給シ、又其ノ他ノ手工製作品目下園内自給ヲ主眼トスルモ將來若シ生産多量ニシテ消毒可能ナル場合ニ至レハ園外ニモ供給スルニ至ラシメントス。

第四項 賣店ノ經營

本園ノ賣店ハ所謂消費組合ニ類似スル組織ナリ。即チ過去十數年間公費ノ及ハサル患者日用雜貨ハ小賣商人ノ手ヲ經テ購入セシモ中間商人ヲ利スルノミニシテ患者ハ高價ニシテ疎悪ナル物品ヲ入手シ且ツ商人ハ永續セス種々ノ不便尠カラス故ニ昭和三年五月患者共有金若干ヲ資本トシ賣店ヲ開キ商品ヲ大量ニ購入セシメ會長監督ノ下ニ患者ヲシテ販賣ノ任ニ當ラシメシナリ。然ルニ近來一箇月四千餘圓以上ノ賣上アリテ純益約一割ヲ上クルコト容易ナリ。

茲ニ本會ハ此ノ賣店ノ權利義務ヲ繼承シ以テ全患者ヲ利セントスルニアリ。

第五項 印刷出版及學藝ノ獎勵

本會ハ山櫻及「パンフレット」等ヲ發行シ以テ園内患者ノ文藝ニ依ル慰安並ニ精神的向上ヲ計リ外部ニ對シテハ園内ノ平和ナル生活ヲ記述シ社會ノ同情ト理解ヲ得ルニ努メ以テ癩ノ豫防宣傳ニ資スル所アラントス。

第六項 其ノ他理事會ノ決議ニ依リ必要ト認メタル事項

上述セル第一乃至第五項以外ニ理事會ノ決議ニ基ツキ必要ト認メタル事業ヲ行ヒ以テ園内ニ於テハ本會所期ノ同病相憐、相互扶助ノ實ヲ擧ケ園外ニ於テハ癩豫防運動ノ一助トナリ本病カ一日モ早クコノ光輝アル日本ノ國土ヨリ絶滅センコトヲ期ス。

二、寄附行爲

第一章 名 稱

第一條 本會ハ財團法人全生互惠會ト稱ス

第二章 目的及事業

第二條 本會ハ 皇太后陛下御仁慈ノ思召ヲ體シ多磨全生園收容患者相互扶助ノ實ヲ擧クルヲ以テ目的トス

第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達スルタメ左ノ事業ヲ行フ

- 一 相互扶助作業ノ獎勵及援助
- 二 重症患者ノ慰安及救済
- 三 農業其他産業ノ經營及獎勵
- 四 賣店ノ經營

五 印刷出版及學藝ノ獎勵
六 其ノ他理事會ノ決議ニヨリ必要ト認メタル事項

第三章 事務所

第四條 本會ハ事務所ヲ多磨全生園内ニ置ク

第四章 資産會計及贊助員

第五條 本會ノ資産ハ 皇太后陛下御下賜金、諸般ノ寄附金及本園收容患者ノ設立シタル農會試作部、全生賣店、山櫻俱樂部、互惠部ヨリ寄附セラルル別紙目錄ニ掲クルモノトス（別紙畧ス）

第六條 本會ハ理事會ノ議決ヲ經テ基金ヲ設クルコトヲ得

基金ハ理事五分ノ三以上ノ同意ヲ得會長ノ承認ヲ得ルニアラサレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

第七條 本會ハ理事會ノ議決ニ依リ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第八條 本會ノ資産中現金ハ郵便官署其ノ他確實ナル銀行又ハ信託會社ニ預入レ若クハ國債證券又ハ確實ナル有價證券ヲ買入レ利殖ヲ圖ルモノトス

但シ特別ノ事情アル場合ニハ理事會ノ議決ニヨリ不動産ヲ購入スルコトヲ得

第九條 本會ノ經費ハ資産ヨリ生スル收入及其ノ他ノ收入ヲ以テ支辨ス

第十條 本會ノ事業翼賛ノタメ寄附セラレタル金品ハ之ヲ受領シ其ノ金員ハ之ヲ基金ニ編入ス

但シ理事會ノ議決ニヨリ其ノ一部ヲ經費補充積立金ニ編入スルコトヲ得

寄附ノ目的ヲ指定シタルモノハ其ノ用途ニ充ツ

第十一條 毎會計年度ノ終ニ於テ剩餘金アルトキハ基金ニ編入ス

但シ剩餘金ノ一部ニ限り翌年度ニ繰越スコトヲ得

第十二條 本會ノ豫算ハ毎年度理事會ノ議決ニ依リ之ヲ定メ決算ハ理事會ノ認定ヲ經ルモノトス

第十三條 本會ノ會計年度ハ毎年五月一日ニ始マリ翌年四月三十日ニ終ル

第十四條 本會ノ事業ヲ翼賛スルモノハ之ヲ贊助員ト稱ス

第五章 役員

第十五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一 會長 一名

二 副會長 二名

三 理事 若干名

四 監事 若干名

第十六條 會長ハ多磨全生園長ノ職ユアルモノトス

副會長ハ多磨全生園職員中ヨリ會長之ヲ委囑ス

第十七條 會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス

副會長ハ會長ヲ輔佐ス會長事故アルトキハ豫メ指定シタル順序ニヨリ之ヲ代理ス

會長、副會長ハ理事トス

第十八條 理事ハ之ヲ分チテ二種トス

一 甲理事ハ多磨全生園職員中ヨリ會長之ヲ選任ス

二 乙理事ハ多磨全生園收容患者中ヨリ會長副會長合議ノ上之ヲ選任ス

第十九條 甲乙理事ノ人員ノ割合ハ會長ノ決スル所ニ依ル

但シ甲理事十八名乙理事十二名以内トス

第二十條 對外問題ノ生シタルトキ乙理事ハ一切ノ權限ヲ甲理事ニ委任スルコトヲ要ス

第二十一條 監事ハ多磨全生園職員中ヨリ會長之ヲ委囑ス

第二十二條 理事及監事ノ任期ハ一箇年トス但シ再任ヲ妨ケス補缺者任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第二十三條 理事及監事任期滿了ノ場合ニ於テ其ノ後任者ノ就職スル迄ハ仍前任者ニ於テ其ノ職務ヲ行フモノトス
 第二十四條 本會ニ事務員若干名ヲ置ク
 第二十五條 理事監事及事務員ニシテ其ノ職務上不都合ノ所爲アリタルトキハ會長直ニ之ヲ免ス免職セラレタルモノハ再任スルヲ得ス

第六章 理事會

第二十六條 理事會ノ職務權限左ノ如シ

- 一 歳入歳出豫算ヲ定ムルコト
- 二 決算報告ヲ認定スルコト
- 三 不動産ノ購入又ハ處分ヲ議定スルコト
- 四 寄附行爲ヲ變更シ及處務細則ヲ設定スルコト
- 五 其ノ他會長ニ於テ必要ト認メ理事會ニ附議シタル事項

第二十七條 理事會ハ會長之ヲ招集ス

理事會ノ議長ハ會長之ニ當ル

第二十八條 理事會ハ理事二分ノ一以上出席スルニアラサレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第二十九條 理事會ノ議決ハ出席者ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス

可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第七章 附 則

第三十條 本寄附行爲ノ施行ニ關シ必要ナル細則ハ理事會ノ議決ヲ經テ別ニ之ヲ定ム

第三十一條 將來此ノ寄附行爲ノ條項ヲ變更セントスルトキハ理事總數三分ノ二以上ノ同意ヲ經テ且主務官廳ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第三十二條 第十八條ニヨリ選任セラレタル理事就任スルニ至ル迄ノ間ハ設立者ヲ以テ理事トス
 第三十三條 農會試作部、全生賣店、山櫻俱樂部及互惠部ノ有スル權利義務ハ法人許可ノ日ヨリ本法人ニ於テ之ヲ繼承スルモノトス

以上

昭和十八年十一月二十日印刷
昭和十八年十一月廿五日發行

(非賣品)

東京都北多摩郡東村山町南秋津一六五番地

發行者 國立癩療養所多磨全生園

電話 所 一四二番
東村山 一〇五番

群馬縣吾妻郡中之條町四三三番地

印刷者 蟻川 潔

群馬縣吾妻郡中之條町四三三番地

印刷所 蟻川 潔
吾妻合同印刷有限會社

電話 一三八番

